



前中だより



ホームページにて学校の情報や日常の生徒の様子等もご覧いただけます。

通いたい学校 通わせたい学校 勤めたい学校へ

学校 (0197) 56-3005(代)

卒業証書授与式 ~118名の巣立ち~

3月13日(水)、強い風とともに肌寒さが感じられる気候の中、保護者、来賓ご臨席のもと、**第61回卒業証書授与式**を挙行いたしました。この一年、3年生は前沢中学校の顔となり、力強く後輩を導いてくれました。その背中を見て過ごしてきた後輩たちは、前中の新たなリーダーとして、3年生から引き継いだ伝統を守り、発展させていく決意を胸に抱いています。



校長から一人ひとりへ証書授与

式では、校長から卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡され、3年間の中学校生活並びに9年間の義務教育の全課程を修了することとなりました。

校長からは式辞の中で、「自分も周囲の人も幸せにできるよう、そして『未来はもっと眩しい』『未来はきっと眩しい』と信じて、自信をもって突き進んでほしい」とメッセージが送られました。

また、在校生を代表して、生徒会長の小野寺唯奈さんは、送ることばの中で、「皆さんは、私たちの誇りであり、共に過ごしたこの時間は、一生の宝物です。皆さんのような、強く、優しく、温かい心をもった先輩を目指し、在校生一丸となって頑張っていきます。」と、3年生から伝統を受け継ぐ決意が語られました。

そして、卒業生代表の菅原凌さんは、「3年前、コロナ禍の中、1年生だけで行われた入学式に、戸惑いと不安を感じながらの中学校生活のスタートでした。あれから3年、在校生の皆さん、先生方、家族と、私たちを支えてくださった大勢の方々に見守られ、この卒業式が行われることを、心から嬉しく思い、感謝の気持ちでいっぱいです。」とコロナ禍で始まった中学校生活を振り返り、「春から、私たちは、自分で決めた進路に向かって新たな一歩を踏み出します。高校では、新しい仲間と心を通わせ、人としてさらなる成長を遂げていきたいと思います。今日まで私たちを支えてくれた在校生の皆さん、ご指導していただいた先生方、大切に育ててくれた両親や家族に、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。私たちは、ここからさらに大きくなることを誓います。」とこれまでの感謝とこれから新たな道を踏み出す決意が語られました。



校長式辞

また、在校生を代表して、生徒会長の小野寺唯奈さんは、送ることばの中で、「皆さんは、私たちの誇りであり、共に過ごしたこの時間は、一生の宝物です。皆さんのような、強く、優しく、温かい心をもった先輩を目指し、在校生一丸となって頑張っていきます。」と、3年生から伝統を受け継ぐ決意が語られました。



学校とPTAから祝品を授与



在校生代表 送る言葉

そして、卒業生代表の菅原凌さんは、「3年前、コロナ禍の中、1年生だけで行われた入学式に、戸惑いと不安を感じながらの中学校生活のスタートでした。あれから3年、在校生の皆さん、先生方、家族と、私たちを支えてくださった大勢の方々に見守られ、この卒業式が行われることを、心から嬉しく思い、感謝の気持ちでいっぱいです。」とコロナ禍で始まった中学校生活を振り返り、「春から、私たちは、自分で決めた進路に向かって新たな一歩を踏み出します。高校では、新しい仲間と心を通わせ、人としてさらなる成長を遂げていきたいと思います。今日まで私たちを支えてくれた在校生の皆さん、ご指導していただいた先生方、大切に育ててくれた両親や家族に、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。私たちは、ここからさらに大きくなることを誓います。」とこれまでの感謝とこれから新たな道を踏み出す決意が語られました。



卒業生代表 決意の言葉

3年生からは、旅立ちのメッセージとして、呼びかけと合唱「群青」が披露され、感動の渦に包まれながら、式が終了となりました。



ステージで呼びかけを行う3年生



3年生合唱「群青」



式歌「大地讃頌」



合唱に聴き入る3年担任



校歌斉唱



胸を張って退場



最後の学活



2年生による太鼓演奏



見送りの様子

前沢中へ WELCOME ～小中連携新入生交流会～

1月24日（水）、前沢小6年生を中学校に招き、新入生交流会を開催しました。前半は中学校の授業の様子を見て回り、後半は生徒会執行部から学校生活についての説明や、小グループに分かれて本校2年生徒との座談会を行いました。座談会では、中学校の学習や部活動についてたくさんの質問が出され、中学生が丁寧に答える様子が見られました。最後は中学生が合唱を披露しました。この交流会で6年生が抱いていた不安が少しでも和らぎ、期待に胸を膨らませて4月に入学してくることを心待ちにしています。



“花を贈る会” ～新生徒会執行部が活躍!!～

2月21日（水）、生徒会行事の「花を贈る会」を行いました。生徒会役員や体育祭の組団、部活動、応援団の3年生から2年生への「継承」が行われました。中学校生活を振り返るスライド上映では、3年生は歓声をあげ、楽しんでいました。3年生からは、3年間の思いが詰まったすばらしい合唱が披露され、1、2年生の心に刻まれました。参観された保護者の皆様、ありがとうございました。



組団の「継承」



部活動の「継承」



3年生応援団&パフォーマー 最後の演奏



3年生からのエール

3.11 を教訓に ～復興教育授業～

東日本大震災から13年目の3月11日（月）、「復興教育講演」を行いました。今年度は、千葉賢一校長が講師を務めました。校長先生は、震災当時、陸前高田市の自宅から通える学校に勤務していました。津波により一変した街の様子、自身が体験したことや震災を経験して考えたこと、私たちに伝えたいことなどを、スライドを織り交ぜながら、熱く語りました。生徒は、時にはうなずきながら真剣に話を聴き、校長先生の思いを受け止めていました。14時46分には、震災による犠牲者の方々へ、全校で黙とうを捧げました。



講師の千葉賢一校長先生

＜生徒の感想＞

- ・もし自分が被害にあって避難所で過ごすことになったら、お年寄りや妊婦さん、子どもたちのお世話など、誰かの役に立てるよう、自分から声をかけてあげたい。また、東日本大震災という大きな地震、津波が来たことを今後も伝えていきたいと思う。



令和6年度定期人事異動



令和6年度の定期人事異動により、下記の17名が転出・退職することとなりました。これまで地域の皆様には、たくさんのご支援、ご協力を賜りました。誠にありがとうございました。

役職	名前	転任先等	役職	名前	転任先等
個人情報により、Webでの掲載は控えさせていただきます。					

令和5年度 前沢中学校体育・文化活動支援基金 会計報告

◎令和5年4月1日～令和6年3月22日現在

【収入の部】	地域の皆様からご協力頂いた支援金	319,000円
	※野球部全国大会出場に寄せられた寄付・支援金等	3,885,561円
	令和4年度までの残額	1,605,671円
	利息等	13円
	合計	5,810,245円
【支出の部】	前中太鼓修理代	293,700円
	野球部全国大会出場に係る諸経費	3,824,110円
	合計	4,117,810円
収入 5,810,245円 — 支出 4,117,810円 = 1,692,435円		
残金は次年度の前沢中学校体育・文化活動支援基金に繰り越しとさせていただきます。		

◎今年度、「前沢中学校体育・文化活動支援基金」にご協力をいただいた皆様

○前沢13区様	24,000円	○アスティ北自治会様	34,000円
○前沢18区様	27,600円	○前沢15区様	21,000円
○白鳥6区様	17,400円	○合ノ沢会館(白鳥1区)様	4,200円
○前沢2区(天神地区)様	8,600円	○千葉賢一様	10,000円
○白鳥5区様	11,200円	○前沢4区(上組)様	20,200円
○前沢4区(下組)様	12,400円	○七日町(下組)様	5,200円
○上野原振興協議会様	38,600円	○前沢14区様	10,000円
○新町下組様	14,600円	○古城地区振興会様	60,000円

◎「前沢中学校体育・文化基金」は、全国大会等の派遣費として積み立てられ、全国大会出場時に交通費等の補助に活用させていただいております。また、文化活動の支援として古くなった楽器、太鼓等の更新購入等にも活用させていただいております。今年度も地域の皆様からたくさんのご支援、ご協力を賜りました。誠にありがとうございました。